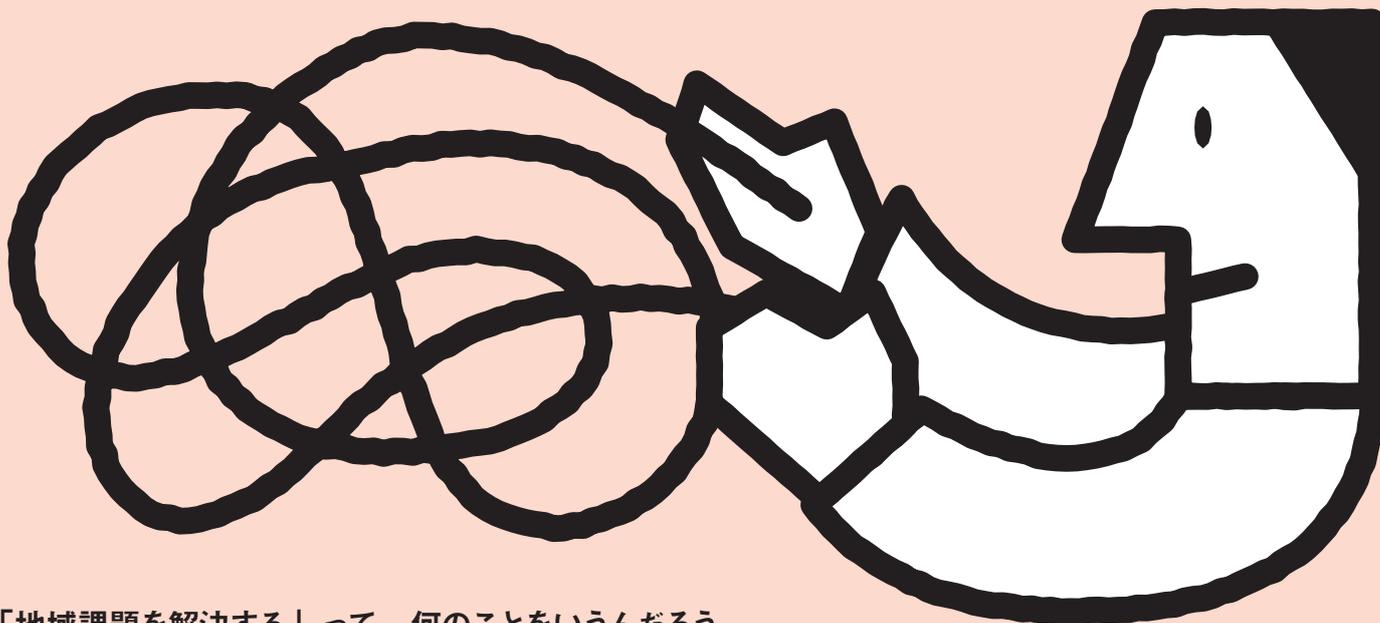




地域課題を根っこから考える

信州大学 Think Local Academy

Directed by 信州大学農 X 推進室



「地域課題を解決する」って、何のことをいうんだろう。
ひとことで「課題」とくられるけれど、その場所には、
その土地を愛する人がたくさんいて、その場所で生き、そこで働く人がたくさんいる。
だから、まず考える。考えて、目にみえる課題ではなく、その課題の根っこを問い直そう。

大学だからできることがある。
大学と学生、社会人が共に学び、考える
Think Local Academy が始まります。

開催
期間

9月23日(土) - 12月9日(土)

講師プロフィール



奥田 悠史
Think Local Academy
プロデューサー/
株式会社やまとわ 取締役



小田 裕和
株式会社 MIMIGURI
デザインストラテジスト/
リサーチャー | co_nel: 代表



下学坪 之典
株式会社 北三陸ファクトリー
代表取締役 CEO



植山 智恵
株式会社 Project MINT
CEO
代表取締役社長

募集要項

定員	20名前後 ※応募が定員を超えた場合は応募理由にて選考し、決定通知日にお知らせします	対象者	大学生、大学院生、社会人	応募の要件	プログラムの全ての講義に対面で出席が可能なこと、各回で提示される課題に積極的に取り組めること
場所	信州大学伊那キャンパス inadani sees 他伊那市周辺	受講料	学生 無料 / 社会人 10,400 円 (税込) ※交通費、食費自己負担 ※フィールドワークのため保険加入推奨	申し込み締め切り	9月10日(日)
受講者選考決定通知日	9月13日(水)	お問い合わせ	agri-x-academy@shinshu-u.ac.jp		

申し込みはこちらから



イベントページはこちらから



プログラムの特徴

問いの立て方を考えるところから始まる、 社会を前に進めるためのアカデミー。

- ・デザイン思考で物事の捉え方を学ぶ
- ・社会課題に取り組む前に、問題の複雑性や循環を学ぶ
- ・デザイン思考を学んだ上で、フィールドに出て実践者や関係者へのリサーチを重ねる
- ・社会で言われている課題を超えた根っこの部分を自分の言葉で表現する

問いをみつけるローカルデザイン思考

DAY1

9月23日(土) 13:00- 17:00

「地域の社会課題」を紐解く

オリエンテーション

ファシリテーター 奥田 悠史

ローカルデザイン思考

講師 小田 裕和

Research

問いを見つける
フィールドワーク

リサーチとフィールドワーク

信州大学教授、講師、チューター
によるプロジェクトサポート

DAY2

11月3日(金祝) 9:30- 18:00

自分起点で社会課題に向き合う

ローカルデザイン実践

講師 下苧坪 之典

興味を見つけるワークショップ

講師 植山 智恵

DAY3

12月9日(土) 13:00- 17:00

最終発表

深層的問いとフレームワークの発表

講師 / 総評

奥田 悠史 小田 裕和
植山 智恵

主催 信州大学学術研究・産学官連携推進機構 / アグリ・トランスフォーメーション（農X）推進室

協力 株式会社やまとわ

後援 長野県

※信州大学 Think Local Academy は、内閣府「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」の支援を受けて実施されています。